

じやりみち

…仮設支援情報…



第21号 発行日 1996. 7. 4

阪神・淡路大震災

「仮設」支援NGO連絡会

〒653 神戸市長田区御蔵通5-5

TEL: 078-578-6921 / FAX: 078-578-6923

E-mail: ngoteam@mb.osaka.infoweb.or.jp

口座番号: 01180-6-68556 (郵便振替)

決国総会のお知らせ

今回は「総会」です。会則にもとづいておこないます。皆さん会員になって下さいね♡

内容: 1. 議長の選出 2. 決算・総括の承認 3. 総括を含めた昨年の振り返り 4. 役員選出 (代表・事務局長・監事) 5. 来年度の事業・予算の承認

会員の承認は総会の前に全体会を開いて行います。会員ではない方もオブザーバーとして総会に参加できます。

7月10日 (水) 18:30~20:30 毎日新聞神戸ビル3F 第2ホール (以前の事務所です!)

懇親会のお知らせ

久しぶりの懇親会。場所は今までと同じ毎日新聞神戸ビル (元町) のとなりの「よるずや」です。総会のあと20:30から。

全体会の報告

6/26に開かれた全体会では情報交換と6/21に出された公営住宅家賃補助の記事から、「この記事から何を読む?」というのを協議してみました。

阪神・淡路大震災災害復興公営住宅に関して (1996年6月21日付新聞各紙より抜粋)

震災被災者対象とする家賃低減の総合プログラムを正式決定。1999年春までに38,600戸を供給、最低家賃を6,000円程度に軽減することが決定。(29日付けで5,000円台の低額家賃住宅発表)

低減期間: 入居から当面5年間。

低減例: 神戸市・市街地の1DKに単身者が入居した場合、年間所得89万円以下で月額6,000~7,000円。

対象: 次の①・②を満たす方 ①災害復興公営住宅・市町施行分再開発系住宅に入居する低所得の被災者 ②1998年までに入居決定がなされた方。

低減基準: 「住宅のタイプや面積」・「立地地域 (利便性)」・「入居世帯の年間所得」の3つを基準にし、段階的に低減していく。

入居方法と募集: 「仮設住宅入居者枠」・「それ以外の募集枠」を設定。仮設住宅入居者は一度は抽選に漏れても一般枠への「敗者復活」も取り入れ、仮設住民を政策的に誘導する。

地区配分: 東灘区1,800戸 灘区2,900戸 中央区3,700 兵庫区1,900 須磨区1,400 長田区2,300 垂水区3,200 北区1,400 西区2,400。

その他: ・1998年度上期には仮設住宅から公営住宅を希望する被災者すべてが入居することを目標とする。

・仮設間の転居の容認や恒久住宅の優先入居の検討。

・仮設敷地の土地利用や返却期限を考慮した優先枠は設定しない方向でいく。

・被災地のテント村・旧避難所・待機所・県外の公営住宅等の被災住民を仮設と同列に扱うかは決まってない。

グループディスカッションの中で出てきたことは、

- ・「5年間の家賃補助」…その5年後にどうなるのか。たったの5年で立ち直れるのか? 収入のない高齢者にとってはどうにもならないのでは? 5年後の地獄。
- ・「仮設住宅入居者優先措置」…仮設住宅に入れなかった人、自費で住宅を借りている人、県外に避難していった人はどうなるのか。募集が「仮設入居者枠」と「それ以外の枠」となっているが、仮設入居者はあたらなかった場合、「その他の枠」にも応募できるという。さらに仮設以外の人には当たる確立は低くなってしまっているのでは? もれた人は?
- ・「98年度上期までに仮設住宅解消」…解消できたら復興が終わり、というような雰囲気。それで問題が終わるわけではない。出たがらない人も出てくるだろう。また仮設の統廃合が始まることによる問題も出てくる。
- ・「事実上の個人保障」…これで個人保障は終わりなのか?
- ・建設予定地が北区・西区に集中している。これでは仮設住宅と同じ。自分たちの土地に帰りたい人がほとんどなのに。仮設住宅が公営住宅にかわっただけでは?
- ・3ヶ年計画での12万5千戸という数はどういう根拠から来ているのか。
- ・募集地区等の不透明さが高齢者には不安。
- ・申し込みがたぶん難しいだろう。分かりにくい募集が高齢者等の悩みを増やす。
- ・また年寄りばかりの住宅ができるのでは? (共同生活で高齢世帯のコミュニティーづくりを促進するコレクティブハウジングをモデル的に新設する・神戸新聞6/21)
- ・今まで築いてきたコミュニティーをまた崩してしまうのでは。
- ・避難所にいた方が仮設が建つときにとびついたように、仮設にいる方が公営住宅に入るといふことにやっきになっているが、依然と同じような問題を抱えた入居になるのでは?

というような意見が出されましたが、連絡会としてこれからどうしていくかというのは非常に大きな課題です。

< 仮設は今... >

西区編

西区は約9,000戸の仮設住宅が建てられ、神戸市全体の3分の1を擁している。これを分けると大きく4つのブロックに分けられる。一番東は須磨区と垂水区に隣接している「学園都市、伊川谷」地区約1,000戸がある。その西に地下鉄「西神南駅」を足がかりにした「西神南、室谷」地区約1,800戸がある。地下鉄を終点まで行くと、いわゆる「西神ニュータウン」にたどりつく。ここには約5,000戸、34団地に分かれて仮設住宅がひしめきあっている。そしてさらにその西および北の方向に、もはやバスでしかアプローチできない1,300戸の「岩岡・桜ヶ丘・玉津」地区がちりばめられており、押部谷(オバダニ)もこの中に入る。

西区の仮設住宅の特徴は、直接には震災被害のなかったところに仮設住宅群が建てられたところであり、西区役所の行政は震災を経ずにいきなり仮設住宅にかかわったのである。バスは台数や乗務員の大幅増もないまま運行され、大幅収益金を上げた。スーパーの食料品も3倍の売り上げになったといい、文字どおり仮設のまちが「突然来た」のである。

住民の悩みの特徴の中で最大のものは交通費の負担である。バスと地下鉄を乗り継いで市街地へ出るために、また子どもがもとの高校に通うために、月2万円以上の出費になってしまい、音を上げているなどの声を聞く。また住宅地として準備のされていない広大な地区にいきなり住宅が建てられたために、郵便ポスト・公衆電話・売店・バス停などの要求が多い。

しかしそんな中にも、比較的自然が豊かなために近くの山歩きの会ができたり、夜中に仮設住宅の中をタヌキが歩いていたとか、喘息が治ったなどのうれしい話も多い。

つづく

週末ボランティア 東條

がしキは走る

(全国キャラバン日程表)

7/7	神奈川県 横浜市	川崎球場	パ・初	
7/7	東京都 新宿区	早稲田大学	シホ	(石井)
7/13~14	福島県		研修会	(石井)
7/19~20	香川県 高松市		講演会・シホ	(石井)
8/9~11	神奈川県 小田原市	まるたの森	がしキ・パ・初・シホ	(村井・石井)
8/18	兵庫県 姫路市	大手前公園	がしキ・パ・初・シホ	
8/28	福井県 福井市	県中学サミット	講演会	(石井)
8/30~9/1	愛知県 名古屋市	グランドイ会場	がしキ・パ・初・シホ	(村井・石井・澤田・和布・りゅうた・ひかる)



※村井:村井雅清(「仮設」NGO代表・ちびくろ救援グループ代表) 石井:石井布紀子(「ゆ」外結ふ) 澤田・和布:(元毎日ボランティア交流会) りゅうた・ひかる:鈴木隆太・山田光(「仮設」NGO事務局)

事務局より

必読!!

朝日ふれあいセンター助成金

「仮設」NGO事務局に、朝日ふれあいセンター助成金の申請書が届いています。

対象団体は、

- 1) 仮設住宅のふれあいセンターなどの運営、援助にあたる自治会、ボランティア団体。
- 2) ふれあいセンターのない小規模仮設住宅の自治会、援助するボランティア団体。

助成事業は、仮設住宅の住民を対象にふれあいセンターなどで実施する事業で、96年度中に実施されるものとなっています。助成金額は、原則として20万円程度の事業助成。助成総額700万円です。

締切: 7月10日(水) 必着

問い合わせ: 朝日新聞大阪厚生文化事業団 06-201-8007



♥ 心の郵便局中間報告 第2弾



去年の暮れから「心の郵便局」と称して、仮設住宅にお住まいの方に励ましのお手紙を送ろう！という企画を行ってきました。今年の始めに簡単に中間報告をしたのですが、その第2弾です。

姫路の駅前に住む老ご夫婦から聞いた話。ご主人は緑内障で目が見えず、ご婦人の方は両手が不自由という。そんな二人の生活の中に小学校からの手紙が来た。それ以来ご婦人がリハビリをかねて、一生懸命にお返事を書かせていただいているという。今まで手のリハビリもなかなかやっていたなかったそうなのだが、文通のおかげですいぶん良くなったそうである。手紙を送ってくれている子どもたちの近くに孫娘が住んでいることもあって、すごく親しみがわくといわれる。いつも手紙が届くのをうきうきして待っているという。

96年7月4日現在、「心の郵便局」に集まったお手紙やメッセージの数は、約3,200通にもなりました。特に多かったのはやはり年末年始でしたが、それ以降も定期的に送って下さるところが少しずつ増えています。送って下さるお手紙も、絵を添えていたり、3月には雛人形が添えてあったり、いろいろな工夫をそれぞれにしてお送りされていて、とても楽しいものになっています。また少しずつ仮設住宅の方からのお返事も返ってきているようで、ある小学校では実際に仮設住宅の方たちとの交流を持ったところもあります。

こういった全国と仮設住宅の方たちとの交流がどんどん広がっていけば、とても素敵なものになるんじゃないかな？と思っています。これからもよろしくお願いします。

また、そちらに直接お手紙が返っているかと思えます。これからの活動の参考にさせていただきたいので、仮設住宅の方からのご意見も含め、いろいろなご意見、ご感想をお寄せ下さい!!!

◆POWER TO THE KOBE—神戸復興サティエ・パト—
7/14 (日) ポートアイランド (ワルト記念ホール 市民広場)
発起人代表：森繁 久彌
お手伝いボランティア大募集!!! (7/13~15 弁当支給)
問い合わせ：神戸復興サティエ・パト 実行委員会
078-802-3209 村田・松本・山田



情報コーナー

福井県永平寺町社会福祉協議会からお米が届きました！ご希望の方は事務局まで。
078-578-6921 (山田)

★「ひまわり展」～写真募集のお知らせ～
あなたが種を蒔いたり、水をくれたりして愛情をそそいで育てたひまわりの花を写して送って下さい。秋に写真展を開きます。(出展した写真のお返しはできません)
詳しくは、〒651-21 神戸市西区王塚台6-93-2 ひまわりの夢企画 荒井 勲

◆週末ボラ
7/5 (金) 喫茶談話会 19:00~21:00 元町「古時計」
7/6 (土) 仮設訪問 13:00~18:00 西神第7仮設住宅 (西神中央駅13:00集合)
7/7 (日) 第3回「週末ボランティア意見交換会」
14:00~17:00 北須磨ボランティア事務所 (須磨区名谷公園内)
問い合わせ: 078-795-6499 週末ボランティア 東條

♥バザー用品求む/
8月に大きなバザーを予定しています。
ご家庭でご不要な食器・シーツ・タオル等ございましたら送って下さい。注意:新品に限ります。衣類は要りません。
問い合わせ: PROJECT 1-2(ワッツ) ほんわかルームまで
〒654-01 神戸市須磨区白川台7丁目9-14 (有光方)
携帯: 030-67-20024 (有光)

「もうひとつのじゃりみち」

ひかるがいく (芦屋市 川西仮設住宅の巻)

5/25日の神戸新聞。「おもしろい記事が載ってるよ」と言う言葉に惹かれ目を通す。「被災者が西紀町へ移住計画」「農業楽しみ”人生の復興”」…? さらに読み進んでいくと、「震災で生まれた人の輪を大切にしながら年を重ねていきたい」として「年輪館」という会社を作り、農園を運営するという。へえ…と思う。早速教えてくれた方と2人で自治会長さんにお話を伺いに行く。(ホントをいうと、私より乗り気だったのは教えてくれた方だったのだが。)自治会長さんに何故この計画を?と訪ねた。

仮設住宅は知つての通り非常に高齢者の方の入居が多い。この芦屋市の川西仮設も例外ではない。まわりにも今まで気軽に行っていたお店もない中で、動くこともだんだん大変になってくるお年寄りたちにはどうしても簡単な食事ですましがちになる。会長さんは少しあとに入居されたそうだが、そのときにはずいぶん顔色の悪い方が目に付いたそう。みんな野菜不足で顔がむくんでいる。ある人などは震災以降ずっと店屋物しか食べていないという。去年、芦屋市では仮設での火災事件も発生したこともあって、「恐くて炊事なんて…」とも。この状況をなんとかできないだろうか…。そんな想いでほうぼう探され、西紀町に行き着いたそうである。とにかくみんなを連れていくことから始まった…。

つづく